

名 称	なまえせきてい <b>直江石堤</b>						
エ リ ア	●	<b>米沢市</b>	南陽市	高畠町	川西町		
概 要	<p>★上杉の知将 直江兼続が築いた土木遺産</p> <p>直江石堤は、兼続みずから赤崩山に登り、米沢城や松川の地形を見渡し、洪水を防ぐにはどうしてもここに堤防を築かなくてはならないと決心し、大規模な築堤を計画したと伝えられています。兼続の築いた堤防は、長い年月の間に何度か大雨によって破損し、その度に藩士のお手伝いなどによって修復されましたが、なかでも文化9年（1812）の工事は、延べ9727人の藩士を動員した大工事でした。</p> <p>石堤のある河川敷は現在、「直江堤公園」として開放され、市民の憩いの場所となっています。</p>						
所 在 地	米沢市南原石垣町				Googleマップで 位置表示 <a href="http://maps.google.com/maps?q=37.867072,140.12147">http://maps.google.com/maps?q=37.867072,140.12147</a>		
交通情報	関根郵便局より約3 km 車で約9分 カーナビでは「直江堤公園」で検索						
問 合 せ	米沢市役所産業部観光課 TEL0238-22-5111				駐車場	有	30 台 無
U R L	<a href="http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/">http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/</a>			📍クリックで移動			



(撮影時期:9月)

**米沢市指定文化財**  
谷地河原堤防(直江石堤)

昭和六年九月八日指定  
所在地 米沢市大字赤崩

この堤防は、慶長六年(一六〇一)上杉景勝の米沢移封後、重臣直江兼続が米沢の町づくりとともに力を注いだ治水事業の一環として整備されたものである。この付近は、古くから谷地河原と称された川底が浅く流れが急なことで洪水の多発地帯であった。兼続は、松川(最上川)から米沢城下を守るには築堤が不可欠と判断し、近くの赤崩山へ登って形勢を検討したといわれている。

現存する石堤は、上流部の赤崩橋から海老ヶ沢下流付近に至る約一・四キロメートルに及んでおり、上流からAブロック、Dブロックと区分している。石堤には河原石を横積した「野面積み」をはじめ、斜行積や交互積といった後世の修復や改修の石積痕跡が残るもので、近世期の土木技法を示す貴重な遺構として、一・二キロメートルの範囲を指定している。

指定範囲

谷地河原堤防全体図



# 直江石堤



概 要

No 1 直江堤公園 (撮影時期：9月)



概 要

No 2 直江石堤 (撮影時期：9月)



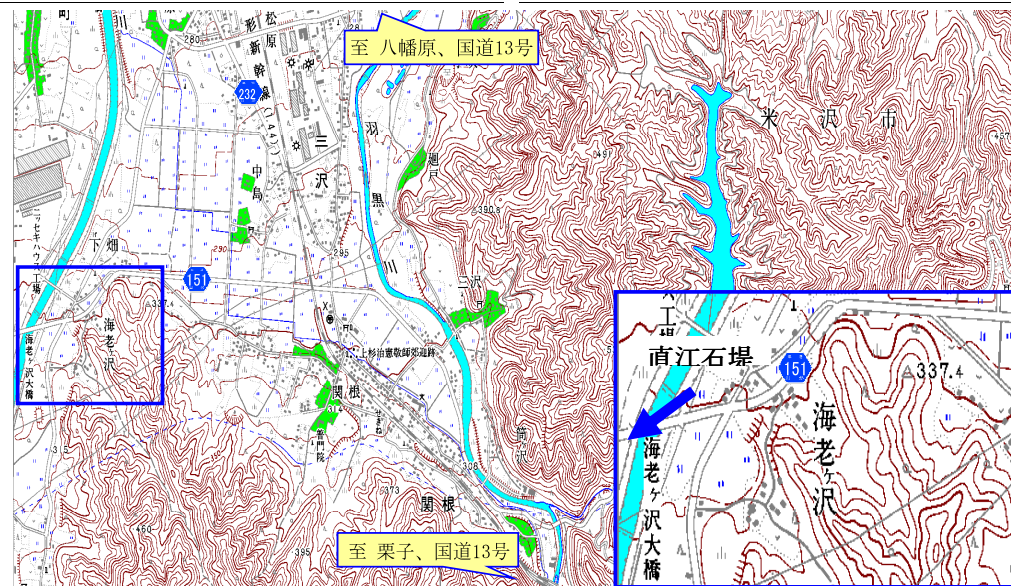
概 要

No 3 直江堤公園 (撮影時期：9月)



概 要

No 4 直江石堤 (撮影時期：9月)



周辺地図 (国土地理院地図を利用して作成)

Googleマップで  
位置表示 <https://maps.google.com/maps/?q=37.867072,140.12147>